

# 小学校 第5学年

体育館（26名） 指導者 川口 久美子

## 1 題材名 和音とともだち

## 2 題材の目標

○ハ長調の和音の響きや移り変わりを感じ取りながら、旋律に合う和音を見つけたり、音を重ねて表現したりすることができる。 （知識及び技能）

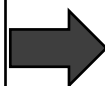
○音の重なりや和音の響きの違いについて考え、どのように表現するかについて思いや意図をもつことができる。 （思考力、判断力、表現力等）

○和音の響きや移り変わりが生み出すよさを味わいながら活動に取り組む。 （学びに向かう力、人間性等）

## 3 子どもの実態とめざす子どもの姿

### 子どもの実態

1学期の「すてきな一歩」の歌唱では、同じリズムの主旋律と副旋律の二部合唱に取り組む、高さの違う音の重なりが生み出す面白さを存分に感じる事ができた。友達が歌う旋律に自分の声を重ね合わせ、きれいに響くときとそうでないときを耳で確かめる事ができた。しかし、友達の音との重なり方や音の移り変わりにまで意識して表現する子は少ない。



### めざす子どもの姿



- ・和音の響きの違いや移り変わりに気づき、言葉に表す。
- ・和音と旋律の重なりに耳を傾け、意図をもって和音を選んだり、音を重ねたりする。
- ・和音を選び、音を重ねる活動を通して、音の重なり方や和音の移り変わりが生み出す響きのよさに気づき、音の重なりに関心をもって取り組む。

## 4 題材について

本題材で扱う「静かにねむれ」は、ハ長調の主要和音のみで伴奏が構成されており、初めての和音の学習に適している。Iの和音のみで構成された伴奏を聴けば、旋律と和音の音がぶつかって合わないと感じられる。そのため、旋律に合う和音と合わない和音があることに気づき、旋律と和音の関わりに目が向くだろう。また、和音体操（和音のイメージに合わせて体を動かす活動と和音を弾く活動を合わせた場面）を設定し、和音の響きの違いに気付いたり、鍵盤楽器で弾くことで和音の種類と響きを結び付けたりできるようにする。ハ長調の和音の響きを学習した後、Iの和音が合わなかった小節に合う和音を探す活動を行う。旋律は4分音符と2分音符で、和音に含まれている高さの音のみでつくられているので、旋律に合う和音を見つけられるだろう。自分で見つけた和音の移り変わりをを使って演奏できた喜びが、他の曲の和音の移り変わりも聴いてみたいという意欲につながると考える。

「こげよマイケル」は、呼びかけとこたえが斉唱と合唱で構成されている曲である。まずは、主旋律のみを記した楽譜を見て、2つのハレルヤの部分の主旋律に合う和音を選ぶ。「静かにねむれ」の学習を生かして、旋律に合う和音を選ぶことができるだろう。次に、選んだ和音を使って、旋律に音を重ねる活動を設定する。和音の移り変わりがはっきりとわかるように、旋律と同じリズムにする。音を重ねる活動を通して、和音の移り変わりによる響きの変化や心地よさを感じ取ることができるだろう。友達と和音を選んだり重ねたりする活動を通して、和音の響きや移り変わりによる美しさを感じ取る感性を育てたい。

5 題材の指導計画（全8時間）

時	○学習活動 ・予想される児童の反応	◇支援と留意点 ※評価
1	<div data-bbox="368 280 1286 353" style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>音の重なりって何？ 和音と友達になろう</b> </div> <p>○「静かにねむれ」の1、2段目の主旋律を、「Iの和音のみの伴奏」と、「IV・V・V<sub>7</sub>の和音も入れた伴奏」で聴き比べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ずっと一緒だと変な感じ。</li> <li>・旋律に合わないところがある。</li> <li>・IV、V、V<sub>7</sub>の和音を使うといい感じになるんじゃないかな。</li> </ul> <p>○ハ長調の和音の仕組みを知り、響きの違いを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・礼をするときの音と一緒だ。これが和音っていうんだ。</li> <li>・IVは広がった感じがする。</li> <li>・Vの和音は落ち着く感じ。</li> </ul> <p>○鍵盤ハーモニカでハ長調の主要な和音を演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つか4つの音を重ねるのが和音なんだ。</li> <li>・これでいろんな曲の伴奏ができるね。</li> <li>・和音が弾けるとかっこいい。</li> </ul>	<p>◇和音の移り変わりのよさに気づけるように、Iの和音のみの伴奏と他の和音を入れた伴奏の聴き比べを取り入れる。</p> <p>◇和音の響きの特徴を体感できるように、主要な和音に合わせて体を動かす活動（和音体操）を取り入れる。</p> <p>◇ハ長調の和音に抵抗感を少なくするために、和音を鍵盤楽器で弾く時間を確保する。</p> <p>※和音の移り変わりを聴き取ったり、ハ長調のI・IV・V・V<sub>7</sub>の和音を理解したりすることができたか。（活動の様子）</p>
<div data-bbox="347 1234 1129 1339" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;">                 「静かにねむれ」に和音をつけて弾いてみたいな。             </div>		
2	<div data-bbox="343 1377 1353 1460" style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>「静かにねむれ」の旋律に合う和音を見つけよう</b> </div> <p>○「静かにねむれ」の旋律に合う和音を探す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律と合わせてみると、IVが合うね。</li> <li>・小節の途中で和音を変えてみるとどうなるかな。</li> </ul> <p>3 ○見つけた和音を入れて、演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぴったり合う和音が見つかって、すっきりした。</li> <li>・和音が変わるほうがいいね。</li> <li>・和音と旋律を合わせて演奏できると楽しい。</li> </ul>	<p>◇IVとV、V<sub>7</sub>の和音の響きの違いを感じ取るために、Iの和音の部分だけ書き込んだ楽譜を用意する。</p> <p>※旋律に合う和音を見つけたり、移り変わるよさに気づいたりすることができたか。（ワークシート、活動の様子）</p>
<div data-bbox="347 1883 1295 2033" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;">                  旋律に合う和音を見つける「コツ」がわかったよ。             </div>		

「こげよマイケル」の「ハレルヤ」の部分を、和音を使ってハモらせよう

- 4 ○「こげよマイケル」の「ハレルヤ」の部分に合うハ長調の和音を見つける。
- ・旋律にミがあるから、Iだよ。
  - ・曲が終わるときは絶対Iだよ。
  - ・旋律と合わせて聴いてみると、合うってわかる。
- 5 ○前半の「ハレルヤ」の旋律に、和音から音を選んで重ねる。
- ・まずは、旋律の音じゃない音を和音から探そう。
  - ・音の高さを変えてみたらどうかな。
  - ・高い音と低い音を交互に選んで重ねてみたらどうなるかな。
- 6 ○後半の「ハレルヤ」の旋律に、和音から音を選んで重ねる。
- ・前半より後半の方が盛り上がるように、和音の音を全部重ねてみようよ。
  - ・和音の中にある音を全部使えば、にぎやかな感じがするよ。
  - ・最後は落ち着いた感じで終わりたいから、音を減らして重ねてみよう。
- 7 ○曲全体を通してタブレットで録音し、手直しをする。
- ・旋律の音より高い音を使ってもいいのかな。
  - ・あんまり音が飛びすぎないほうが、まとまる感じ。
  - ・ずっと同じ音だと低音パートみたいだね。

◇見つけた和音から音を選んで、旋律の音に重ねる活動にするために、和音を書き込むことができる楽譜を用意する。

※旋律に合う和音を見つけることができたか。(ワークシート、活動の様子)

◇和音の移り変わりのよさや音の重なりによる響きを感じ取りやすくするために、旋律と同じリズムで重ねるようにする。

◇音の重なりによる響きを聴き取りやすくするために、ミニキーボードとタブレットのピアノの音を使う。

◇他のグループの音の重なりや和音の選び方の違いに着目できるように、グループ用ホワイトボードに和音や重ねた音を書き込み、提示する。

※和音の響きの移り変わりを意識しながら、音を重ねることができたか。(ワークシート・演奏)

【本時】

自分たちでハモリのパートをつくることができたよ。ハモリってきれいだね。



自分たちのハモリを発表しよう

- 8 ○楽譜を提示しながらつくった旋律を演奏し合う。
- ・自分たちと同じ和音の移り変わりがあった。
  - ・同じ和音からつくったはずなのに、少し似ているけれど違っていて、おもしろい。
  - ・自分たちがつくったのもいいと思ったけれど、友達の班のもすてき。

※和音の移り変わりの違いや、音の重ね方による響きのよさを感じることができたか。(ワークシート)

和音が変わっていくときれいだね。いろいろな音の重ね方があるね。



6 本時の指導 (6/8時)


(1) 目標

○音の重なり方や和音の移り変わりが生み出す響きのよさに気づき、友達と試行錯誤しながら音を重ねる活動に取り組むことができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 準備 教師：「こげよマイケル」の拡大楽譜、ハ長調の和音カード、ワークシート、グループ用ホワイトボード、掲示用ホワイトボード

児童：ミニキーボード、タブレット

(3) 展開

○学習活動 ・ 予想される子どもの反応	◇支援 ※評価
<p>○和音体操をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>見つけた和音から音を選び、「ハレルヤ」後半の旋律に音をハモらせよう</p> </div> <p>○「ハレルヤ」後半の旋律に、和音から音を選んで重ねる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の終わり方をどうしようかな。</li> <li>・最後はIの和音なんだけど、旋律と同じドだけを使って、みんなでぴったり合って終わる感じはどうかな。</li> <li>・低音パートみたいに、③のパートは低い音ばかりにしてみよう。</li> <li>・豪華な感じにしたいから、和音の音を全部重ねてみよう。</li> </ul>  <p>○各グループの音の重なり方を全体で聴き合い、比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ和音の移り変わりなのに、選んだ音の高さが違うから、微妙に聴こえ方が違った。</li> <li>・最後の部分を、Iの和音の音を全部使うんじゃなくて、あえて旋律と同じドの音だけ使っていて、きゅっとまとまった感じがした。</li> <li>・選んだ和音が違うと、音を重ねたときも雰囲気は違ってくる。</li> </ul> <p>○前半と後半をつなげた演奏を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハレルヤの前と、音を重ねたハレルヤの部分の雰囲気が全然違う。</li> <li>・ハレルヤのところになると、急に音が広がった。</li> <li>・友達のグループのハモリもいいな。</li> </ul> <p>○本時のふりかえりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和音の中の音を使って重ねれば、きれいにハモれることがわかった。</li> <li>・他のグループのハモリを聞いたとき、音の高さに気を付けて選んで重ねていてきれいだったから、もう一度自分たちの重ね方を確認して、もっとすてきにしていきたい。</li> </ul>	<p>◇主要和音の響きの違いを体感できるように、和音体操を取り入れる。</p> <p>◇技能面を考慮し、旋律を弾く人や音を重ねる人など役割分担をして、音の重なりに着目して取り組むことができるように、3～5人のグループを構成する。</p> <p>◇和音の中にある音から選ぶことができるように、各グループに和音カードを配る。</p> <p>◇音の重ね方や選び方による響きの違いに気づけるように和音の移り変わりが同じグループを取り上げたり、和音の移り変わりが違うグループと比較したりする。</p> <p>◇ユニゾンの部分と音が重なるハレルヤの部分を通して聴くことで、音の重なりによる響きのよさや効果に気づくことができるように、グループ代表を取り上げる。</p> <p>※和音の移り変わりの響きのよさに気づき、音をハモらせることができたか。【思、判、表】 (活動の様子、ふり返しシート)</p>